

社会福祉施設連絡会通信 (No. 23)

蒸し暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか？今回は、6月22日に開催された平成30年度の総会&研修会について報告します。

総 会

午後1時30分から総会。荒井会長の挨拶の後、秋本幹事が議長に就任し、議事が進められました。



平成29年度の事業及び決算報告、監査報告に続き、平成30年度の事業計画及び予算も、役員会の案のとおり賛成多数で承認されました。平成30・31年度の役員改選では、障がい施設部会から選出されていた平野副会長が退任され、秋本幹事が副会長に選任され、市立障害者総合福祉センターの佐分佐知枝氏が新たに幹事に就任されました。最後は浅井副会長の挨拶で無事終了しました。

研 修 会

午後2時30分から研修会。今回は講師にHUGのわ主宰・倉野康彦先生をお迎えし、「HUG社会福祉施設バージョン」を実施しました。

HUGは、H(hinanzyo 避難所)、U(unei 運営)、G(game ゲーム)の頭文字を取ったもので、英語で

「抱きしめる」という意味です。避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせて名づけられました。このゲームを通じて災害時要援護者への配慮をしながら部屋割りを考え、また炊き出し場や仮設トイレの配置などの生活空間の確保、視察や取材対応といった出来事に対して、思いのままに意見を出し合ったり話し合ったりしながらゲーム感覚で避難所の運営を学ぶことができるツールとして全国に普及しています。

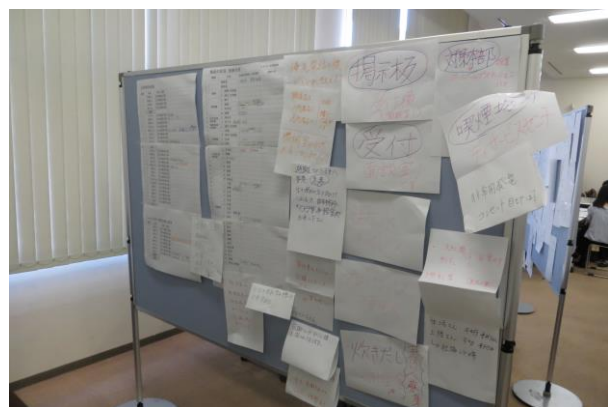


今回実施した社会福祉施設バージョンは、場面を避難所から社会福祉施設に置き換え、震災直後からの事業継続と福祉避難所開設等を視野に、施設職員の具体的な行動を模擬体験するために実施しました。

参加者は、58名で会員の他に市役所関係課、社協職員も一緒に参加させていただきました。



アイスブレイキングシートを使って自己紹介をした後、読み上げ役がカードに書かれている事例を読み上げていくと、臨場感のある活気に満ちた研修会となりました。



倉野先生からは研修会のまとめとして、HUGを体験することにより、自然と身に付く「災害時三種の神器」として「地図」「掲示板」「一覧表」の重要性、「掲示板のちから」を述べられました。



また①災害時は同時多発、同時対応であること、②思いもよらないことが起こること、③皆で協力しないと対応できないこと、最後に図上訓練、シミュレーションの重要性を学ぶことができました。

参加者のアンケートからは「研修に参加してとても良かった」「施設の防災対策について今後さらに研修の機会をもちたい」との意見が多数ありました。

大阪しあわせネットワーク・地域貢献委員会 連携推進助成事業の決定を受けました

昨年度より役員会において検討を重ねてまいりました標記の助成事業につきまして、今年度50万円の助成を受けることが決定いたしました。

標記の助成金は連続して3年間申請可能で、今年度は八尾市と結んでいる「災害発生時等における福祉避難所等の協力に関する協定」に基づき災害時において福祉施設に求められる具体的な役割を明確にするため防災を研修のテーマとし、避難所開設訓練を、連続講座の形式で実施したいと考えています。研修内容については、座学だけではなく、HUG等のシミュレーション型訓練を活用し、参加者が「話し合いながら一緒に考える場」を設けることによって、「お互いを知る」きっかけとしたいと考えています。

2年次、3年次においても研修会や交流会等の活用を検討しており、最終的には学識経験者の監修もと、成果物を作成できればと考えています。

※ご意見・ご感想をお寄せください

連絡先 八尾市社会福祉協議会 鈴木

Tel.072-991-1161 Fax.072-924-0974

メール yaosyakyo@forest.ocn.ne.jp